



申15号 定年退職まで安心して働ける 要求項目 労働環境の実現を求める申し入れ 紹介①

会社から「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」の施策の提案と、新たなグループ経営ビジョン「勇翔2034」が発表されました。

社員の成長のさらなる促進を目指して、各種制度が抜本的に見直されることにより、「多様性」「革新性」「柔軟性」を高める新たな働き方が求められています。

しかし、新潟支社においては「勇翔」の言葉とかけ離れていると思われる、国鉄由来の設備や環境に依存して業務している箇所が多くあるのが現状です。

東日本ユニオン新潟地本は、社員が安全・安心で快適に業務を行い、生活ができる環境を求めて申15号で申し入れを行っています。その要求項目を今号からシリーズでお伝えします。

【休養室関係 共通】

- ・休養室の浴衣をガウンタイプまたはセパレートタイプに選択できるようにすること。

⇒乗務員休養室には浴衣が配備されているが、その多くは年代物の浴衣を使用しているため劣化が進んでいる。着用してもはだける、または短くなってしまっているものもある。他支社では浴衣以外の寝巻が配備されている。短い休養時間で少しでも睡眠の質を上げたい。

- ・駅の休養室に寝間着を設置すること。

⇒乗務員区と駅職場が統括センターとなり一つの職場になったが、乗務員休養室には浴衣が配備され、駅休養室には配備されておらず不公平感が否めない。

- ・枕を複数用意し選択できるようにすること。

⇒人それぞれの体系にあった寝具を選択できることで睡眠の質を上げる。

- ・休養管理室の寝具を定期的に新調すること。

⇒寝具が古く、劣化が見受けられる。新しい寝具にすることで休養の質を上げる。

- ・汚れまたは破れているスリーピングシートは交換すること。

⇒繰り返し使用しており、縫い目が破れているシートと混在している。

- ・枕カバーを個別に設置すること。

⇒スリーピングシートの下に枕を入れて休養しているが、微調整がしづらく寝にくい。

みんなの声を結集して要求の実現に取り組もう！

